

科学者委員会男女共同参画分科会（第25期・第14回）

同性差に基づく科学技術イノベーションの検討小分科会（第25期・第10回）

合同開催・議事要旨

1. 日 時：令和4年6月15日（水）13:00～15:00

2. 場 所：オンライン

3. 出席者

・科学者委員会男女共同参画分科会

望月 眞弓、高橋 裕子、熊谷 日登美、野尻 美保子、三尾 裕子、名越 澄子、  
三谷 絹子、沖 大幹、玉田 薫、森 初果、伊藤 公雄、井野瀬 久美恵、  
谷口 洋幸、藤井 良一、星乃 治彦、三成 美保、吉永 直子、渡辺 美代子（以  
上、名簿順）

・同性差に基づく科学技術イノベーションの検討小分科会

渡辺 美代子、名越 澄子、河野 銀子、高瀬 堅吉、大野 由夏、野尻 美保子、  
伊藤 公雄、上田 修功、安田 仁奈、能瀬 さやか（以上、名簿順）

・科系省庁（意見交換会のみ）

内閣府男女共同参画局推進課 花咲恵乃氏  
総務省政策統括官（統計制度担当）付統計企画管理官室 川原靖雄氏  
文部科学省科学技術・学術政策局人材政策課 澄川雄氏  
（事務局）内山貴裕、

4. 議事要旨

(1) 議事要旨確認

科学者委員会男女共同参画分科会（第25期・第12回、第13回）（資料1-1、1-2）および、同性差に基づく科学技術イノベーションの検討小分科会（第25期・第9回）（資料1-3）の議事要旨について承認された。

(2) 関係府省との意見交換

性差に基づく科学技術イノベーションの検討小分科会渡辺委員長より見解案（資料2）の「要旨」に基づいて説明があり、その後、府省からの参加者と意見交換を行った。

### (3)見解案についての意見交換

見解案について分科会及び小分科会メンバーとの意見交換を行い、部分的に修正を行うこととなった。

### (4)その他

- ・アンケート小分科会から提言を発出するための手続きについて

三成から資料に基づいて説明があった。科学的助言等対応委員会からの助言に対する回答文書案を承認し、微妙な調整については小分科会委員長と分科会幹事に一任した。

- ・第一部総合ジェンダー分科会

5/23 に分科会を開催した。シンポジウム「中等教育から始めよう」が開催されており、これが男女共同参画分科会の小委員会につながっていることが紹介された。また、今後は言語・文学・翻訳からみたジェンダー論について、シンポジウムを開催することを予定している。(三尾)

- ・第二部生命科学ジェンダーダイバーシティ分科会

5/23 に分科会を開催した。昨年から3回のシンポジウムを開催し、今後記録を作成する。自然科学系の協力学協会に対して女性比率のアンケートをとることになり検討を行なっている。(熊谷)

- ・第三部ジェンダー・ダイバーシティ分科会

初等中等教育について見解の提出に向けて、5/23 に意思の表出の申出を行った。八月末に見解案を取りまとめることを目指している。(野尻)

- ・ジェンダー研究国際連携小分科会

日本での国際女性史連盟の大会の開催はコロナの影響で延期され2024年に開催することを予定している。この大会はコロナ禍の中の今年はポーランドで開催されることが予定されている。(高橋)